

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-132049

(43)Date of publication of application : 28.05.1993

(51)Int.Cl.

B65B 61/02
B41J 21/00

(21)Application number : 04-064664

(71)Applicant : XEROX CORP

(22)Date of filing : 23.03.1992

(72)Inventor : ROURKE JOHN L

(30)Priority

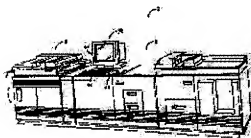
Priority number : 91 678913 Priority date : 01.04.1991 Priority country : US

(54) PROCESS FOR ELECTRONICALLY PRINTING ENVELOPE

(57)Abstract:

PURPOSE: To facilitate programming of printing items on envelope such as recipient's name/address, sender's name/address, bar code, logo type, and fare stamp using an interactive picture in order to improve the efficiency of working time for delivery operation of envelopes.

CONSTITUTION: An electronic printing device consists of a printer 2 for printing image on envelope and the like from image signal, programming means including an interactive picture 62 for programming a printing device, and supply means for supplying envelopes from envelope supply source to a printer 2. This printing device prepares, in memory, a recipient address directory having plural recipient address file with the description of individual recipient's address to be selected, and by making an access to this recipient address directory, indicates the plural recipient address file on an interactive picture. Recipient address is programmed by selecting new recipient address file from the recipient address file on the picture. Further, the adjustment of address position on envelope, printing number, size, color and the like can be selected.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 23.03.1992

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 2503147

[Date of registration] 13.03.1996

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

特開平5-132049

(43) 公開日 平成5年(1993)5月28日

(51) Int. Cl.⁵B 65 B 61/02
B 41 J 21/00

識別記号

庁内整理番号

8407-3E
Z 8804-2C

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数10(全 28 頁)

(21) 出願番号 特願平4-64664

(22) 出願日 平成4年(1992)3月23日

(31) 優先権主張番号 07/678913

(32) 優先日 1991年4月1日

(33) 優先権主張国 米国 (U S)

(71) 出願人 590000798

ゼロックス コーポレーション
XEROX CORPORATION
アメリカ合衆国 ニューヨーク州 14844
ロチェスター ゼロックス スクエア
(番地なし)

(72) 発明者 ジョン エル ルーク

アメリカ合衆国 ニューヨーク州 14450
フェアポート ウォーターフオード ウ
エイ 94

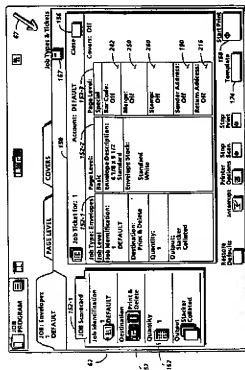
(74) 代理人 弁理士 中村 稔 (外6名)

(54) 【発明の名称】 封筒に電子的に印刷する方法

(57) 【要約】

【目的】 対話型画面を使用して、封筒に印刷する受取人住所、差出人住所、バーコード、ロゴタイプ、料金別納スタンプなどの印刷項目をプログラムし、印刷する方法を提供する。

【構成】 選択する個々の受取人住所が記載された複数の受取人住所ファイルを有する受取人住所ディレクトリをメモリ内に準備し、受取人住所ディレクトリにアクセスして複数の受取人住所ファイルを対話型画面に表示させる。対話型画面を使用して、画面上の複数の受取人住所ファイルから新しい受取人住所ファイルを選択することによって受取人住所をプログラムする。差出人住所、バーコード、ロゴタイプ、料金別納スタンプについても同様である。さらに、対話型画面を使用して、封筒上の受取人住所、差出人住所の位置を調整することができるし、印刷する封筒の数、封筒のサイズ、色、等を選択することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 イメージ信号から封筒などの印刷媒体にイメージを印刷するプリンタ、プリンタが印刷に使用するイメージ信号を格納するメモリ、封筒にイメージを印刷するように印刷装置をプログラムするための対話型画面を含むプログラミング手段、封筒の供給源、および封筒をプリンタへ連続的に供給する手段を備えた電子印刷装置において、封筒印刷ジョブを処理する方法であって、

封筒印刷ジョブをプログラミングするため事前に選択された省略時受取人住所および省略時差出人住所を含む、事前に選択された省略時封筒プログラミング選択対象を有する封筒ジョブチケットを対話型画面に表示すること、

プログラミング選択する個々の受取人住所が記載された複数の受取人住所ファイルを有する受取人住所ディレクトリをメモリ内に準備すること、

プログラミング選択する複数の差出人住所が記載された少なくとも1つの差出人住所ファイルを用意すること、メモリ内の受取人住所ディレクトリにアクセスして、受取人住所ファイルに対話型画面に表示すること、対話型画面に表示された前記省略時受取人住所ファイルを目で見て確認すること、

対話型画面を使って、前記省略時受取人住所ファイルから新しい受取人住所ファイルを選択すること、および前記新しい受取人住所ファイルの選択に応じて、前記省略時受取人住所ファイルの代わりに、対話型画面上の新しい受取人住所ファイルを目で見て確認すること、の諸ステップから成ることを特徴とする方法。

【請求項2】 さらに、前記差出人住所ファイルにアクセスして、差出人住所を対話型画面上に表示すること、

対話型画面上の前記省略時差出人住所を目で見て確認すること、

対話型画面を使用して、画面に表示された差出人住所から新しい差出人住所を選択すること、および前記新しい差出人住所の選択に応じて、前記省略時差出人住所の代わりに、前記新しい差出人住所を目で見て確認すること、の諸ステップを含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】 さらに、事前に選択された省略時郵便切手を有する封筒ジョブチケットを表示すること、

複数の郵便切手プログラミング選択対象が記載された郵便切手ファイルをメモリ内に準備すること、

メモリ内の前記郵便切手ファイルにアクセスして、複数の郵便切手を対話型画面に表示すること、

対話型画面上の省略時郵便切手を強調表示すること、

対話型画面を使用して、画面に表示された郵便切手から新しい郵便切手を選択すること、および事前に選択され

た省略時郵便切手の代わりに、前記新しい郵便切手を目で見て確認すること、の諸ステップを含むことを特徴とする請求項2に記載の方法。

【請求項4】 さらに、事前に選択された省略時バーコードを有する封筒ジョブチケットを表示すること、

複数のバーコードプログラミング選択対象が記載されたバーコードファイルをメモリ内に準備すること、

メモリ内のバーコードファイルにアクセスして、複数のバーコードを対話型画面に表示すること、

対話型画面上の省略時バーコードを目で見て確認すること、

対話型画面を使用して、画面に表示された複数のバーコードから新しいバーコードを選択すること、および事前に選択された省略時バーコードの代わりに、前記新しいバーコードを目で見て確認すること、の諸ステップを含むことを特徴とする請求項2に記載の方法。

【請求項5】 さらに、事前に選択された省略時ロゴタイプを有する封筒ジョブチケットを表示すること、

複数のロゴタイププログラミング選択対象が記載されたロゴタイプファイルをメモリ内に準備すること、

メモリ内のロゴタイプファイルにアクセスして、複数のロゴタイプを対話型画面に表示すること、

対話型画面上の省略時ロゴタイプを目で見て確認すること、

対話型画面を使用して、画面に表示されたロゴタイプから新しいロゴタイプを選択すること、および事前に選択された省略時ロゴタイプの代わりに、前記新しいロゴタイプを目で見て確認すること、の諸ステップを含むことを特徴とする請求項2に記載の方法。

【請求項6】 さらに、事前に選択された省略時封筒印刷媒体をメモリ内に準備すること、

メモリ内の封筒印刷媒体にアクセスして、封筒印刷媒体を対話型画面に表示すること、

対話型画面上の省略時封筒印刷媒体を目で見て確認すること、

対話型画面を使用して、画面に表示された封筒印刷媒体から新しい封筒印刷媒体を選択すること、および事前に選択された省略時封筒印刷媒体の代わりに、前記新しい封筒印刷媒体を目で見て確認すること、の諸ステップを含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項7】 さらに、受取人住所欄および差出人住所欄（プリンタによって封筒に印刷される受取人住所および差出人住所の相対的位置を表す）を有する封筒レイアウトを対話型画面に表示すること、のステップを含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項8】 さらに、

対話型画面を使用して、プリンタによって封筒に印刷される受取人住所の位置を再プログラムするため、画面上の前記封筒レイアウト内の受取人住所欄を再位置決めすること、のステップを含むことを特徴とする請求項7に記載の方法。

【請求項9】 さらに、

対話型画面を使用して、プリンタによって封筒に印刷される差出人住所の位置を再プログラムするため、画面上の前記封筒レイアウト内の差出人住所欄を再位置決めすること、のステップを含むことを特徴とする請求項7に記載の方法。

【請求項10】 さらに、

対話型画面を使用して、プリンタによって封筒に印刷される受取人住所および差出人住所の位置を再プログラムするため、画面上の前記封筒レイアウト内の受取人住所欄および差出人住所欄を再位置決めすること、のステップを含むことを特徴とする請求項7に記載の方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、電子印刷方法、より詳細には封筒に電子的に印刷する方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 電子印刷は、印刷物を作成するときイメージソースとしてイメージ信号すなわち画素を使用する。イメージ信号は、原文書の走査、遠隔のイメージソース、キーボード入力、等から得ることができる。得られたイメージ信号は、必要な処理をしたあと、レーザープリンタまたはインクジェットプリンタなどのプリンタで印刷媒体（一般には、コピー用紙）に印刷され、印刷物となる。

【0003】 一般に印刷媒体としてコピー用紙が使用されるが、ある種の印刷ジョブにおいては、コピー用紙以外の印刷媒体に印刷することが特に要求されることがある。そのような他の形式の印刷媒体の1つが封筒である。印刷ジョブで作成された印刷物は、多数の宛先へ郵送するため封筒に入れられることが多いからである。したがって、印刷装置に封筒自体に印刷できる能力を与えることができれば有益であろう。

【0004】 しかし、封筒に印刷するには、多くの独特な能力が必要であり、その1つは、封筒上の正しい位置に差出人と受取人の住所、氏名を印刷する能力である。典型的な事例として、封筒とその内容が郵送される受取人の住所氏名は、印刷を通じて一定でなく、印刷する各封筒ごとに異なるが、差出人の住所氏名は一定である。もう1つの事例は、返信用封筒に印刷するケースである。このケースでは、差出人の住所、氏名は各封筒について同じである。封筒に印刷する別の事例も当然考えられる。

【0005】 さらに、効率を高め、かつ別個の操作で郵

送前に各封筒に郵便切手を貼る必要をなくするために、料金別納スタンプを印刷する能力を備えていることが望ましい。また、郵便局における宛先分け作業を容易にするため、封筒にバーコードを印刷することができることが望ましい。

【0006】 たとえば、係属中の米国特許第628,130号（発明の名称“Set Addressing For Printing Machine”）に記載されているように、電子印刷装置は印刷する住所、氏名などのイメージデータをイメージ信号すなわち画素の形で受け取り、格納する能力を備えているので、この形式の印刷装置は通常の複写機を使用するよりも有利である。複写機の場合には、理解されるように、一般に、住所氏名をラベルの上に複写し、次にそのラベルを、接着剤を使用するなど、比較的時間および費用のかかる方法で個別に封筒に貼り付ける作業が必要である。対照的に、電子印刷装置は、中間ハードコピーの使用や特殊な取扱いは不要であり、住所氏名のほか、郵便切手や他の項目たとえばロゴタイプ、バーコード、等を直に封筒に印刷することができる。

【0007】 米国特許第4,345,276号は、走査したデジタルイメージと、ピクチャメモリに格納されたデジタルデータとを選択的に組み合わせ、1個の合成イメージを作り出し、印刷する方法を開示している。また、米国特許第4,542,378号は、書式を読み取ってメモリに格納しておき、その書式に記入するとき電子オーバーレイとして呼び出し、追加イメージデータを入力する形式の文書処理装置を開示している。また、米国特許第4,680,643号は、多数の個別イメージセグメントを共通ピクチャ平面上で重ね合わせて、1個の合成イメージを作り出す方法を開示している。特許57-074740号は、メモリファイルに格納されたいろいろな文字や写真のデジタル化イメージを個別に選択し、CRTに表示されたプリント版式の離散領域に入れて、合成イメージを作り出し、印刷する方法を開示している。特許59-103460号は、第2ファックス送信（主メッセージの一部が削除され、住所メッセージが挿入されている）によって送られた住所メッセージと主メッセージとを組み合わせるファックス装置を開示している。また、特許60-224375号は、個々のイメージセグメントをあらかじめ定義された配列に組み合わせることにより合成イメージを印刷する方法を開示している。英国特許出願第GB 2,160,056A号は、個々のイメージセグメントをあらかじめ定義された配列に組み合わせることにより合成イメージを作り出す「切り貼り法」を開示している。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】 本発明の目的は、対話型画面を使用して、封筒に受取人住所、差出人住所、郵便切手、バーコード、ロゴタイプをプログラムし、電子的に印刷する方法を提供することである。

【0009】

5

【課題を解決するための手段】本発明は、上記の目的を達成するため、イメージ信号から封筒などの印刷媒体にイメージを印刷するプリンタ、プリンタが印刷に使用するイメージ信号を格納するメモリ、封筒にイメージを印刷するように印刷装置をプログラムするための対話型画面を含むプログラミング手段、封筒の供給源、および封筒をプリンタへ連続的に供給する手段を備えた電子印刷装置において、以下の諸ステップによって封筒に受取人住所、差出人住所、等を印刷する方法を提供する。本方法は、封筒印刷ジョブをプログラミングするため事前に選択された省略時受取人住所と、事前に選択された省略時差出人住所を含む、事前に選択された省略時封筒プログラミング設定を有する封筒ジョブチケットを対話型画面に表示するステップ、選択する個々の受取人住所が記載された複数の受取人住所ファイルを選択する受取人住所ディレクトリをメモリ内に準備するステップ、選択する複数の差出人住所が記載された少なくとも1つの差出人住所ファイルを選択するステップ、メモリ内の受取人住所ディレクトリにアクセスして、受取人住所ファイルを選択するステップ、対話型画面に表示された前記省略時受取人住所ファイルを目で見て確認するステップ、対話型画面を使って、前記省略時受取人住所ファイルから新しい受取人住所ファイルを選択するステップ、および前記新しい受取人住所ファイルの選択に応じて、前記省略時受取人住所ファイルの代わりに、対話型画面上の新しい受取人住所ファイルを目で見て確認するステップから成る。

【0010】本発明は、封筒に印刷するためのプリンタ、印刷のためプリンタが使用するイメージ信号を格納するメモリ、封筒の供給源、および印刷中にプリンタへ封筒を連続的に供給する手段を備え、さらに上記の目的を達成するため、メモリに格納された複数の受取人住所サブディレクトリから成る受取人住所ディレクトリ（各受取人住所サブディレクトリには、プリンタによって封筒に印刷される複数の受取人住所が入っている）、メモリに格納された差出人住所ディレクトリ（プリンタによって封筒に印刷される複数の差出人住所が入っている）、封筒に印刷するため受取人住所ディレクトリから1個の受取人住所サブディレクトリを選択し、差出人住所ディレクトリから1個の差出人住所を選択するプログラミング手段、および印刷する封筒の数を選択した受取人住所サブディレクトリ内の受取人住所の数に等しく設定する制御手段の組合せを備えた電子印刷装置を提供する。

【0011】

【実施例】以下、図面を参照して発明を詳細に説明する。図1および図2に、本発明の原理に従って封筒印刷ジョブを処理する典型的な電子印刷装置2を示す。説明の便宜上、印刷装置2は、イメージ入力部4、コントローラ部7およびプリンタ部8に分けてある。図示した実

6

施例において、イメージ入力部4は、印刷装置2がネットワークサービス、走査サービスおよび印刷サービスを行うことができるように、遠隔イメージ入力装置と現場イメージ入力装置（すなわち、スキャナ）、コントローラおよびプリンタを備えた独立型印刷装置のほかに、遠隔入力装置、コントローラおよびプリンタを備えたネットワーク型印刷装置などの他のシステム構成を考慮することができる。以下、特定の印刷装置について説明するが、本発明は他の形式の印刷装置にも使用することができる。プリンタ部8は、記載したレーザープリンタの代わりに、インクジェットやイオノグラフィックなど、異なる形式のプリンタを使用することができる。

【0012】図2〜図4に示すように、遠隔イメージ入力のために、イメージ入力部4は、1つまたはそれ以上の遠隔イメージデータソースから、イメージ信号すなわち画素の形でイメージデータを装置2へ送って処理することができる電話回線など、適当な通信チャンネルを有するネットワーク5を備えている。入ってくるイメージデータのページ記述言語（PDL: Page Description Language）と、印刷装置2が使用するPDLとが異なる場合には、適当な変換手段（図示せず）が設けられる。その他の遠隔イメージデータ遠隔ソース、たとえばストリームテープ、フロッピーディスク、等を考慮することができる。

【0013】また、現場イメージ入力のために、イメージ入力部4は、透明プラテン20を有する原稿スキャナ6を備えている。透明プラテン20の上には走査する原文書22が置かれる。プラテン20の下には、往復して走査する1個またはそれ以上のCCD線形アレイ24が支持されている。レンズ26とミラー28、29、30は、共同してプラテン20およびその上本文書22の線状区間から反射された光を線形アレイ24の上に結像させる。ネットワーク5または線形アレイ24からのイメージ信号すなわち画素の形のイメージデータは、プロセッサ25へ入力され、処理される。処理後、イメージ信号はコントローラ部7へ送られる。

【0014】プロセッサ25は、線形アレイ24が出力したアナログイメージ信号をデジタルイメージ信号へ変換する。プロセッサ25は、要求されたとき印刷装置2が、プログラムされたジョブを実行するのに必要な形でイメージデータを保存したり、処理したりできるように、前記デジタルイメージ信号をさらに処理する。プロセッサ25は、上記のほか、イメージ信号に対し、フィルタリング、スレッシュホルディング、スクリーニング、切落し、縮小/拡大など、エンハンスメントおよび変更を加える。

【0015】プラテン20の上に置かれた文書22は、再循環原稿取扱い（Recirculating Document Handling ; RDHと略す）モードまたは半自動原稿取扱い（Semi

I-Automatic Document Handling; SDHと略す) モードのどちらでも使用できる自動原稿取扱い装置 (ADH) 35で走査することができる。さらに、ブックモードおよびコンピュータ用紙送り (Computer Forms Feeder; CFFと略す) モードを含む手動モードも準備されている。RDHモードで使用するため、自動原稿取扱い装置35は文書トレイ37を備えている。文書22は、トレイ37の中にスタックの状態で置かれる。トレイ37内の文書22は、真空供給ベルト40、文書供給ロール41および文書供給ベルト42によってプラテン20の上へ運ばれ、そこで走査される。走査後、文書は供給ベルト42によってプラテン20から搬出され、文書供給ロール44によってトレイ37へ戻される。

【0016】 SADHモードで使用するため、文書トレイ37とプラテン20の間に、供給ベルト42への入口となる文書挿入口46が設けられている。オペレータは文書挿入口46に文書を1枚づつ挿入してプラテン20へ送り込むことができる。挿入された文書は挿入口46の後方の供給ロール49のニップにはさまれて供給ベルト42へ送られ、次に供給ベルト42によってプラテン20の上へ運ばれ、走査される。走査後、文書はプラテン20から運び出されてキャッチトレイ48へ排出される。

【0017】 手動モードで使用する場合は、オペレータが原稿取扱い装置35を上方向へ持ち上げて、プラテン20を露出させる。これにより、オペレータはプラテン20の上に文書22を置くことができる。そのあと、文書は線形アレイ24によって走査される。走査終了後、オペレータは文書をプラテン20から取り除いて、次の文書を置く。ブックモードの場合には、オペレータが本の中心線をプラテン20の境界に沿って設けられた位置決め指標 (図示せず) に合わせて、本を下向きに置く。印刷装置2をプログラムすることにより、本の一方のページまたは両方のページが走査される。所望するすべてのページを走査するまで、オペレータは上記の操作を繰り返し、走査終了後、プラテン20から本を取り除く。

【0018】 CFFモードで使用する場合は、挿入口46を通して送り込まれたコンピュータ用紙を供給ロール49が供給ベルト42まで送り、次に供給ベルト42がコンピュータ用紙のページをプラテン20の所定の位置へ送る。

【0019】 図1、図2および図5～図7に示すように、コントローラ部7は、イメージ入力コントローラ50、ユーザーインタフェース (UI) 52、システムコントローラ54、主メモリ56、イメージ操作部58、およびイメージ出力コントローラ60を有する。イメージ入力部4のプロセッサ25からのイメージデータはイメージ入力コントローラ50へ入力される。そこで、イメージデータは圧縮され、データを使用するまで保持する主メモリ56へ転送されるまで、RAM61に一時的

に格納される。

【0020】 図5～図7に示すように、コントローラ部7の複数のプリント配線基板70は、一對のメモリバス72、74によって相互に接続され、かつRAM61に接続されている。RAM61とメモリバス72、74は、メモリコントローラ76によって互いに結ばれている。プリント配線基板70としては、複数のシステムプロセッサ78を有するシステムプロセッサ基板70-1; UI52へ (から) データを転送するUI通信コントローラ80を有する低速I/Oプロセッサ基板70-2; 主メモリ56のディスク90-1、90-2、90-3へ (から) データを転送するディスクドライブコントローラ/プロセッサ82を有する基板70-3、70-4、70-5 (基板70-3は、イメージデータを圧縮するためのイメージコンプレッサ/プロセッサ51を有する); イメージ操作プロセッサ85を有するイメージ操作基板70-6; プリント部8へ出力するイメージデータを処理するイメージ生成プロセッサ86を有するイメージ生成プロセッサ基板70-7、70-8; プリント部8へ (から) のデータの転送を制御するディスパッチプロセッサ88、89を有するディスパッチプロセッサ基板70-9がある。

【0021】 図1からわかるように、ユーザーインタフェース (UI) 52は、対話型タッチ画面62と、キーボード64と、マウス66で構成された、オペレータコントローラ/CRTディスプレイの組合せである。UI52はオペレータと印刷装置2の間に介在し、オペレータはUI52を使用して、印刷ジョブや、その他の命令をプログラムしたり、あるいはシステム動作情報、命令、プログラミング情報、診断情報、等を得ることができる。タッチ画面62に表示される項目たとえばファイルアイコンは、選択した項目に指を触れるか、またはマウス66を使って選択した項目を指示し、マウスキーを押すことによって動作させることができる。

【0022】 主メモリ56は、機械オペレーティングシステムソフトウェア、機械操作データ、および現在処理中の走査イメージデータを格納する複数のハードディスク90-1、90-2、90-3から成る。

【0023】 主メモリ56内の圧縮イメージデータをさらに処理する必要があるとき、またはUI52のタッチ画面62に表示することを要求されたとき、またはプリント部8から要求されたとき、主メモリ56内のデータがアクセスされる。プロセッサ25によって行われる処理以外の処理が要求されたとき、データは基板70-6上のイメージ操作部58へ転送され、そこで、照合、メーキング、分解、等の追加処理が行われる。処理後、データは、主メモリ56へ戻すこともできるし、タッチ画面62に表示するためUI52へ送ることもできるし、あるいはイメージ出力コントローラ60へ送ることもできる。

9

【0024】イメージ出力コントローラ60へ送られたイメージデータは、基板70-7、70-8のイメージ生成プロセッサ86によって圧縮解除され、印刷の準備が完了する。このあと、データは、基板70-9のディスプレイプロセッサ88、89によってプリンタ部8へ送られる。印刷するためプリンタ部8へ送られたイメージデータは、通常、新しいイメージデータを受け入れるため主メモリ56から消去される。

【0025】図2および図3に示すように、プリンタ部8はレーザ9-1を備えたレーザプリンタを有する。レーザ9-1は、入力されたイメージ信号の内容に従って音響光学式変調器92によって変調され、像形成ビーム94を出力する。像形成ビーム94は、回転面100の小鏡面によってベルト形式の可動感光体98を横切って走査され、感光体を像の形状に露光し、ビーム変調器92に入力されたイメージ信号で表される静電潜像を生成する。像形成ビーム94で露光する前に、感光体98は帯電部においてコロナ102で一様に帯電される。生成された静電潜像は現像装置94によって現像され、転写部106において、主給紙トレイ110または補助給紙トレイ112、114のどれから時間を合わせて運ばれてきた印刷媒体のシート108、たとえば封筒160（図1参照）、カード、葉書、等へ転写される。シート108に転写されたイメージは定着装置116によって永久的に定着され、完成した印刷物は出力トレイ118へ排出されるか、あるいは仕上げ装置120へ送られる。仕上げ装置120は、印刷物を糸とじまたは針金とじによって製本するとし機122と、印刷物を接着剤で結合し製本するサマールバインダを備えている。

【0026】次に、図8について説明する。各種の入出力(I/O)基板138のほか、EDNコア基板130、マーキングイメージングコア基板132、用紙取扱いコア基板134、および仕上げ装置バインダコア基板136を含む複数のプリント配線基板が設けられている。システムバス140は、コア基板130、132、134、136を相互に接続するほか、コントローラ部7に接続する。他方、ローカルバス142は各種のI/O基板138を相互に接続するほか、それらの関連コア基板に接続する。

【0027】印刷装置2を起動させると、主メモリ56からEDNコア基板130へ、そこからバス140を経由して残りのコア基板132、134、136へ、オペレーティングシステムソフトウェアがロードされる。各コア基板130、132、134、136は、前記オペレーティングシステムソフトウェアのダウンロード、故障の検出、等を制御するためのブートROM147を有する。ブートROM147は、さらに、バス140を経由して基板130、132、134、136へ（から）オペレーティングシステムソフトウェアや制御

10

データを転送することもできるし、ローカルバス142を経由してI/O基板138へ（から）制御データを転送することもできる。また、印刷装置2内のいろいろな場所に、特別なROM、RAM、およびNVMメモリが配置されている。

【0028】次に、図9について説明する。ジョブは、「ジョブプログラム」モードにおいてプログラムされる。「ジョブプログラム」モードでは、プログラムするジョブに関するジョブチケット150とジョブスコアカード152がタッチ画面62に表示される。ジョブチケット150はプログラムされるいろいろなジョブ選択対象を表示し、ジョブスコアカード152は印刷装置に対する基本的命令を表示する。「ジョブタイプ&チケット」アイコン157でアクセスすることにより、いろいろな種類のジョブチケットが提供される。

【0029】ジョブチケット150は、「ジョブレベル」、「ペーシック」、および「スペシャル」と呼ばれる3つのプログラミングレベルを有する。各プログラミングレベルは、そのレベルにおいて利用できる各種のプログラミング選択対象をアクセスするための一連のアイコンを有する。また、各プログラミングレベルは、そのプログラミングレベルに対応付けられたスコアカード152-1、152-2、152-3を有し、特定のジョブレベルすなわち特定のアイコンを動作させると、該当するスコアカードがタッチ画面62に表示される。

【0030】説明したように、印刷ジョブは、多数のソース（印刷するためスキャナ6を使用して走査されたジョブ、後日印刷するため走査され、格納され、編集または追加されたジョブ、遠隔で走査され、たとえばネットワーク5を通じて印刷装置2へ提供されたジョブ、遠隔で現像され、印刷装置2へ提供されたジョブ、等）から得ることができる。

【0031】以下説明するように、タッチ画面62に表示されたアイコンの形のプログラミング表示にタッチすることによって、あるいはマウス66を使用し、カーソル67で所望のプログラミング表示（アイコン）を指示し、マウスキーを押すことによって、プログラミング選択が行われる。これらの行為は、ここでは、作動、強調表示、タッチ、等と呼ぶことがある。

【0032】（封筒の説明）図13に、印刷装置2で印刷するタイプの封筒を示す。封筒160は、封筒印刷ジョブをプログラミングするときユーザーを助けるためタッチ画面62に表示することができる封筒テンプレート160-1で構成される。

【0033】次に、図9および図10を参照して説明する。封筒160を処理するように印刷2をプログラムするため、「ジョブタイプ&チケット」アイコン157で動作させると、「ジョブレベル」スコアカード152-1、「ペーシック」スコアカード152-2、「スペシャル」スコアカード152-3を含むジョブチケット1

11

50と、「ジョブレベル」スコアカード152-1が表示される。そして、事前に選択された省略時封筒プログラミング設定が与えられる。「ジョブレベル」スコアカード152-1を用いて、「ジョブ識別」、「宛先」、「数量」、および「出力」の各プログラミング選択について、事前に選択された省略時プログラミング設定を変更することができる。たとえば、印刷する封筒160または封筒セットの数を、「1」の省略時設定から変更したい場合には、「数量」選択アイコン162にタッチすると、図10に示すように、キーボード164が表示される。そこでキーボード164の選択したキー166にタッチすれば、新しい数がプログラムされる。「ジョブ識別」、「宛先」、および「出力」のそれぞれの省略時プログラミング設定に対する変更も、同じやり方でプログラムされる。

【0034】次に、図9および図11を参照して説明する。「ベーシック」スコアカード152を用いて、封筒のサイズおよび（または）用紙のそれぞれの省略時プログラミング設定を変更することができる。たとえば、封筒のサイズの省略時プログラミング設定を変更したい場合には、「ベーシック」スコアカード152-2を強調表示すると、「ジョブレベル」スコアカード152-1の代わりに、画面62の左側に、「ベーシック」スコアカード152-2が表示される。そこで、「ベーシック」スコアカード152-2の「封筒種類」選択アイコン168にタッチすると、画面62の作業領域155に、あらかじめ設定されたいろいろな「封筒サイズ」選択アイコン170-1、170-2、170-3、170-4と、「その他」アイコン170-N（変形サイズの封筒をプログラムすることができる）が表示される。そこで、アイコン170-1、170-2、170-3、170-4または170-Nの1つにタッチすれば、省略時封筒サイズ以外の封筒サイズ（アイコン170-2で代表される）がプログラムされる。

【0035】次に、図12を参照して説明する。白色（省略時設定）以外の封筒用紙を希望する場合には、「ベーシック」スコアカード152-2の「封筒用紙」アイコン171を強調表示すると、いろいろな「封筒用紙」選択アイコン172-1-172-2、172-3、172-4、172-5と、「その他」アイコン172-Nが表示される。そこで、希望する色の172-2、172-3、172-4または172-Nの1つにタッチすれば、異なる色の封筒用紙がプログラムされる。

【0036】封筒160に印刷するイメージ（すなわち、住所、電子スタンプ、等）に關する省略時プログラミング設定を変更するには、「スペシャル」スコアカード152-3を選択し、画面62の左側に表示させる。

【0037】次に、図9および図13を参照して説明する。封筒印刷ジョブのプログラミングを容易にするた

12

め、封筒ジョブをプログラミングしているときいつでも選択することができる「封筒テンプレート」選択アイコン174が設けられている。このアイコン174を選択すると、封筒ジョブチケット150の代わりに、「受取人住所」欄178、「差出人」欄180、「バーコード」欄182、「ロゴタイプ」欄184、および「電子スタンプ」欄176を有する封筒テンプレート160-1が画面に表示される。ここで使用する用語「受取人住所」(Sender Address)は、封筒が配達される受取人の住所を意味し、用語「差出人住所」(Return Address)は封筒およびその内容物を郵送する差出人の住所を意味する。図示した例の場合、「受取人住所」欄178は可変であるが、「差出人」欄180、「バーコード」欄182、「ロゴタイプ」欄184、および「電子スタンプ」欄176は不変すなわち一定である。画面62には、さらに、封筒160を示す封筒テンプレートの見本160-2が表示される。封筒テンプレートの見本160-2の各欄には、オペレータが行ったプログラミング選択後の受取人住所198、差出人住所220、バーコード240、ロゴタイプ234、およびスタンプ258の例が記載されている。

【0038】理解されるように、欄の数を変更して、提示する項目の数を増減することができる。さらに、欄の一部または全部を不変にすることもできるし、可変にすることもできる。後者の場合、欄の場所および（または）サイズ、したがって欄内のイメージを変更することが許される。

【0039】次に、図7および図14〜図16を参照して説明する。「受取人住所」を選択するため、ジョブチケット150上の「受取人住所」アイコン190を「オフ」状態から「オン」へ作動させると、「受取人住所」省略時設定（図14の Sender Address Directory Group #2）が表示される。別の「受取人住所」グループが選択されない限り、この省略時設定が印刷される。省略時設定（グループ#2）内の「受取人住所」198を目で見るため、あるいは別の「受取人住所」グループへ変更するため、「受取人住所ディレクトリ」アイコン190を強調表示する。これにより、図14に示すように、別の「受取人住所ディレクトリ」グループ194を有する「受取人住所ディレクトリ」192が画面62に表示される。現在のプログラミング設定を視覚的に指示するため、省略時グループ設定（すなわち、グループ#2）が強調表示される。別の「受取人住所」グループを作動させれば、「受取人住所」は、最初にプログラムした事前設定の省略時グループから新しく選択した「受取人住所」グループへ再プログラムされる。同時に、新しく選択した「受取人住所」グループが画面62に強調表示され、新しいプログラミング設定が表示される。

【0040】各「受取人住所」グループ（リスト）194は、受取人の氏名と住所（郵便番号、都道府県名、市

13

町村名、番地)から成るリストである。理解されるように、特定の受取人の氏名、氏名の数、各グループ194内の氏名の配列、等の変更は可能である。たとえば、グループ194は、アイウエオ順によって、郵便番号によって、職業(医者、弁護士、等)によって、あるいはオペレータが希望する別の方法で、「受取人住所」を配列することができる。

【0041】選択された受取人住所グループ(すなわち、受取人住所グループ#2)内の「受取人住所」を表示するため、画面62に強調表示された受取人住所グループ(すなわち、受取人住所グループ#2)を動作させる(受取人住所グループを選択する)。これにより、図15に示すように、選択されたグループが開かれ、そのグループ内の受取人住所198が表示される。選択されたグループ内の住所の数が表示領域より大きい場合には、上下スクロールアイコン200、202でスクロールして、受取人住所198を見ることが出来る。

【0042】受取人住所ディレクトリまたは受取人住所グループをアクセスすると、必ず図13の封筒テンプレート160-1に似ている封筒レイアウト160-3が画面62に表示される。封筒レイアウト160-3は受取人住所ディレクトリ192(図14)または受取人住所グループ194(図15)の様に表示され、受取人住所、差出人住所、バーコード、ロゴタイプ、および電子スタンプの各欄178、180、182、184、186を含んでいる。

【0043】「受取人住所」欄178は、受取人住所を各封筒に印刷する位置および受取人住所の相対的サイズを示し、受取人住所のプログラミングが行われていることを示すため強調表示される。封筒レイアウト160-3の底辺(X軸)および横辺(Y軸)に沿って延びている数字目盛りは、封筒に印刷される受取人住所198の相対的サイズと向きを示している。

【0044】図示した例の場合、「受取人住所」欄178は変更可能であり、オペレータは封筒160に印刷される受取人住所198の位置を調整することができる(住所位置を変更する)。これは、X軸およびY軸スクロールアイコン204、206を使用して行われる。スクロールアイコン204、206を選んで使用し、「受取人住所」欄178をX方向またはY方向に動かす、住所欄の場所を調整し、封筒160に印刷される住所198の位置を調整することができる(矢印ボタンを用いて住所を移動させる)。数字表示208、210は、封筒に対する住所のX位置およびY位置を示す。

【0045】所望ならは、特定の封筒印刷ジョブに関して選択した受取人住所グループ内の住所を変更、または編集することができる。プログラム中の特定の封筒印刷ジョブについて、ある住所を一時的に消去するため(住所を消去する)、消去する住所を強調表示し、「消去」ボタン212を動作させる(消去ボタンを選択する)。

14

新しい受取人住所はキーボード64で入力することもできるし(新しい住所を選択する)、あるいは別の受取人住所グループからの住所で置き換えることもできる(メニューから置換住所を選択する)。

【0046】受取人住所の選択が終了したら、「閉」ボタン214にタッチして、受取人住所グループ194と受取人住所ディレクトリ192を閉じることができる(受取人住所グループを閉じる)(受取人住所ディレクトリを閉じる)。

【0047】どの印刷用紙でも印刷する封筒160の最小数は、選択したグループ内の相違する受取人住所の数に等しい。したがって、通常は、受取人住所を選択すれば、印刷される封筒の数がプログラムされる。複数セット(1セットは受取人住所グループ内の封筒を1回印刷すること)の封筒を印刷したい場合には、「ジョブプレバ」スコアカード152-1の「数量」選択アイコン162でセット数をプログラムする。また、返信用封筒を印刷する場合のように、すべての封筒に同じ受取人住所を繰り返して印刷する場合には、「数量」選択アイコン162でセット数をプログラムする。

【0048】次に、図7、図13、図17〜図19を参照して説明する。差出人住所を印刷するには、ジョブチケット150(または、「スペシャル」スコアカード152-3)の「差出人住所」アイコン216を「オン」状態へ動作させる。これにより、省略時差出人住所(Xerox Standard)が画面62に表示され、別の差出人住所を選択しない限り、この差出人住所が印刷される。差出人住所を変更するには、「差出人住所」アイコン216にタッチする。これにより、差出人住所ディレクトリ218とそこに格納されている差出人住所サブディレクトリ(ファイル)219のリストが表示される。図17に示した例では、事前に選択された省略時サブディレクトリが強調表示されている。別の差出人住所サブディレクトリ219へ変更するには、所望するサブディレクトリを動作させる。

【0049】差出人住所サブディレクトリ、たとえば強調表示された省略時差出人住所サブディレクトリを動作させると、その特定のサブディレクトリに格納されている差出人住所220のリストが表示され、現在プログラム中の差出人住所(図示例では、Xerox Standard)が強調表示される。必要に応じて、オペレータは、上下スクロールアイコン200、202を使用して、サブディレクトリ219内の差出人住所のリストをスクロールして見ることができる。

【0050】画面62に表示されたサブディレクトリ219内の異なる差出人住所220を強調表示すると、その差出人住所220がプログラムされる。表示を閉じると、選択した新しい差出人住所がプログラムされる。

【0051】差出人住所220は、一般に、差出人の氏名、郵便番号、都道府県名、市町村名、番地で構成され

る。タッチ画面62に表示された封筒レイアウト196の「差出人住所」欄180は、差出人住所のプログラミングが実行中であることを指示するため、強調表示される。

【0052】差出人住所ディレクトリ218から事前に格納された差出人住所を選択する代わりに、キーボード64で差出人住所を入力することができる。

【0053】ここでは、複数の差出人住所サブディレクトリ219を有する差出人住所ディレクトリを簡示したが、1個の差出人住所ディレクトリのみを使用してもよいことは理解されるであろう。その場合には、プログラミング選択する1個またはそれ以上の差出人住所が差出人住所ディレクトリに入っているであろう。

【0054】図18および図19の差出人住所ディレクトリおよびサブディレクトリ表示の横に、受取人住所、差出人住所、バーコード、ログタイプ、および電子スタンプの各欄178、180、182、184、186を有する封筒レイアウト160-3が表示される。そして、「差出人住所」欄180は、差出人住所のプログラミングが実行中であることを指示するため、強調表示される。図示した例の場合、「差出人住所」欄180は不変、すなわち一定であるが、「差出人住所」欄180は可変にしてもよいことを理解されるであろう。その場合には、「差出人住所」欄180を動かして封筒160に印刷される差出人住所220の場所を変更することができるように、前に述べたように、X軸およびY軸数字目盛りと、X軸およびY軸スクロールアイコンが設けられる。

【0055】次に、図7、図13および図20を参照して説明する。印刷するバーコード240は、上に述べた受取人住所の場合と同じやり方でプログラムすることができる。バーコードは、一般に、郵便局における自動封筒仕分け作業を容易にするため使用される。バーコードは、封筒の受取人に地理的に対応付けられた郵便番号を表している。バーコードはさらに他の情報を表すために使用することもできる。

【0056】封筒160にバーコード240を印刷したい場合には、「バーコード」アイコン242を、「オフ」から「オン」へ作動させる。これにより、印刷する省略時バーコード設定(図13および図20参照)がプログラムされる。異なるバーコード240へ変更したい場合には、「バーコードディレクトリ」アイコン244を作動させて、封筒160上のバーコードの相対的サイズと位置が描かれている図14および図15(バーコード欄182は可変)または図17および図18(バーコード欄182は一定である)のいずれにも記載されている形式の封筒レイアウト160-3と一緒に、選択する入手可能なバーコード240のリストが入っているバーコードディレクトリ(図示せず)を画面62に表示させる。さらに別のバーコードへ変更したい場合には、画面

62に表示されたリストから所望のバーコードを選択する。また、理解されるように、1個以上のバーコードディレクトリが存在する場合には、別のバーコードディレクトリを開いて、バーコードプログラム設定を表示することができる。代わりに、そのジョブのために特殊なバーコードを作り出すこともできる。

【0057】封筒160に印刷するログタイプ234は、係属中の米国特許出願第590,633号(1990年9月28日出願、発明の名称「併合項目と電子印刷装置で作成された印刷物を併合する方法」)に記載されている形式の併合ライブラリに格納される。封筒にログタイプを印刷したい場合には、「併合」アイコン250を、「オフ」状態から「オン」へ作動させる。これにより、印刷する省略時ログタイプ(図20参照)がプログラムされる。上に述べたバーコードのプログラミングと同様に、異なるログタイプへ変更したい場合には、「併合ライブラリディレクトリ」アイコン254を作動させて、併合ライブラリディレクトリ(図示せず)を開く。「併合ライブラリディレクトリ」には、封筒160のどこにログタイプが印刷されるかを示すログタイプ欄184が表示された封筒レイアウト(図14、15または図17、18参照)と一緒に、省略時ログタイプを含むいろいろなログタイプが格納されている。ログタイプ欄184は、ログタイプのプログラミングが実行中であることを示すため、強調表示される。異なるログタイプを選択すると、そのログタイプがプログラムされ、封筒160に印刷される。1個以上のログタイプライブラリが存在する場合には、上に述べたやり方で、他のライブラリを選択し、表示させる。上記の代わりに、そのジョブのため特殊なログタイプを作り出すこともできる。

【0058】ディレクトリまたはサブディレクトリから特定の受取人住所または差出人住所を選択するとき、事前に選択したバーコードおよび(または)ログタイプが自動的にプログラムされて封筒のバーコード欄182および(または)ログタイプ欄184に印刷されるように、住所ディレクトリ/サブディレクトリ、たとえば受取人住所ディレクトリ192は、1個またはそれ以上の住所に対応付けられたバーコードおよび(または)ログタイプを有することができる。代案として、ディレクトリのリストが使い尽くされるまで、特定のバーコードがすべての封筒に自動的に印刷されるように、特定のバーコードをディレクトリのリストに対応付けなくてもよい。さらに別の代案として、バーコードを併合ライブラリ内で識別し、選択したログタイプと一緒に印刷するように指定してもよい。その逆も可能である。

【0059】また、封筒印刷ジョブは、封筒160に郵便切手258を印刷する操作を含むことができる。郵便切手258は、単に郵便料金付きの認証された料金別納スタンプの複製であっててもよいし、絵柄と郵便料金付きのログタイプ(図20に実例を示す)の複製であって

よい。郵便料金は、通常、郵便局が定めた一定サイズの封筒に対する標準料金または局払い割引郵便料金である。上記の代わりに、印刷装置2が印刷する封筒のサイズと局払い割引郵便料金の組合せを管理してもよい。すなわち、1個またはそれ以上の郵便切手ディレトリまたはサブディレトリ（図示せず）に、複数の異なる形式およびデザイン上の郵便切手ロゴタイプと（または）料金を格納しておき、必要に応じてアクセスし、プログラミングすることができる。

【0060】郵便切手258を印刷するように印刷装置2をプログラムするには、スコアカード152-3上の「切手」アイコン264を、「オフ」状態から「オン」へ作動させる。これにより、省略時郵便切手（図20参照）がプログラムされ、封筒160の「切手」欄186に印刷され、省略時切手ロゴタイプと料金が表示される。

【0061】省略時郵便切手を変更したい場合には、アイコン264を作動させて、前に受取人住所、差出人住所、等について説明したように、省略時郵便切手が格納されている切手サブディレトリ（ファイル）（図示せず）を表示させる。1個以上の切手サブディレトリが存在する場合には、省略時切手サブディレトリが強調表示される。切手サブディレトリを作動させることにより、サブディレトリ内のいろいろな切手選択リストが画面62に表示され、省略時切手が強調表示される。同時に、図14、15または図17、18に示すように、強調表示された「切手」欄186と、封筒に印刷される切手の場所を表す封筒レイアウトを、作業領域155に表示することができる。別の切手を選択すれば、省略時切手の代わりに、新しい切手がプログラムされ、封筒160に印刷される。

【0062】プログラミング設定が終了したあと、「閉」ボタン（図7参照）を操作すると、封筒ジョブチケットが閉じる。また、「スタート/印刷」ボタン158を操作すると、封筒印刷ジョブが印刷キュー（図示せず）へ転送され、印刷装置2のプリンタ部8によって印刷される。

【0063】受取人住所、差出人住所、バーコード、併合項目、切手、等の封筒印刷項目は、所望の封筒印刷項目が記載された文書を走査して、あるいはキーボード64による入力を通じて、あるいはネットワーク5、ストリムテープ、等を介する遠隔ソースからの入力を通じて得ることができる。走査する場合には、ADH35を原稿取扱いモードで動作させて、封筒印刷項目を含む文書をプラテン20の上に置き、その文書を走査して封筒印刷項目をイメージ信号へ変換する。受取人住所198、差出人住所220、等の封筒印刷項目は、一般に、標準イメージより小さいので、関係のないイメージを除去し、印刷項目のサイズおよび向きを設定するための編集が必要であるかも知れない。印刷する編集項目の詳細

は、前に引用した米国特許出願第590,633号を参照されたい。

【0064】封筒印刷ジョブのために印刷装置2をプログラムする順序は典型的なものであり、ジョブをプログラムする順序は記載した順序と異なってもよいことを理解されるであろう。また、欄178、180、182、184、186の幾つかは可変または不変（一定）であるとして説明したが、不変欄と可変欄のいろいろな他の組合せ、またはすべての欄が不変または可変である構成も考えることができる。

【0065】以上、開示した構造について説明したが、発明は記載した細部構造に限定されるものではなく、特許請求の範囲に含めることができる修正態様または変更態様を包含しているものとする。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の原理に従って封筒印刷ジョブを処理し、印刷する典型的な電子複写印刷装置の斜視図である。

【図2】図1の印刷装置の主要要素を示すブロック図である。

【図3】図1の印刷装置の基本的な機械的構成要素を示す正面図である。

【図4】図1の印刷装置の原稿スキャナの構造の一部を示す略図である。

【図5】図1の印刷装置のコントローラ部の主要部品を示すブロック図の最初の部分である。

【図6】前記ブロック図の中間部分である。

【図7】前記ブロック図の最後の部分である。

【図8】プリント配線基板と共用回線接続を有するオペレーティングシステムのブロック図である。

【図9】ジョブプログラミングモードにおいて、封筒印刷ジョブをプログラムするために使用するジョブチケットとジョブスコアカードの例が表示されたユーザーインタフェースのタッチ画面の図である。

【図10】印刷する封筒または封筒セットの数をプログラムするためのキーボードが表示されたタッチ画面の図である。

【図11】封筒印刷ジョブをプログラムするとき選択する各種の封筒サイズが表示されたタッチ画面の図である。

【図12】封筒印刷ジョブをプログラムしているとき選択する各種の封筒用紙色が表示されたタッチ画面の図である。

【図13】封筒印刷ジョブのプログラミングを容易にするため、受取人住所、差出人住所、バーコード、ロゴタイプ、および切手の各欄を有する封筒テンプレートと、上記テンプレートの見本を示す図である。

【図14】受取人住所ディレトリにアクセスした後のプログラミング選択を示すタッチ画面の図であって、選択のため利用できる幾つかの受取人住所グループが表示

され、現在受取人住所が強調表示されている。

【図15】図14に強調表示された受取人グループを開いた後の受取人住所グループに含まれている受取人住所が表示されたタッチ画面の図である。

【図16】封筒に印刷する受取人住所をプログラムする方法を示すフローチャートである。

【図17】差出人住所ディレクトリをアクセスした後のプログラミング選択を示すタッチ画面の図であって、差出人住所ディレクトリに含まれている差出人住所サブディレクトリが表示され、現在プログラム中の差出人住所が強調表示されている。

【図18】図17に強調表示された差出人住所サブディレクトリ内の差出人住所を示すタッチ画面の図であって、印刷するため現在選択した差出人住所が強調表示されている。

【図19】封筒に印刷するため差出人住所をプログラムする方法を示すフローチャートである。

【図20】「スペシャル」スコアカードの省略時設定に対する変更をプログラムした後の図7のジョブチケットの図である。

【符号の説明】

- 2 電子複写印刷装置
- 4 イメージ入力部
- 5 ネットワーク
- 6 スキャナ部
- 7 コントローラ部
- 8 プリント部
- 20 透明プラテン
- 22 原文書
- 24 線形アレイ (CCD)
- 25 プロセッサ
- 26 レンズ
- 28, 29, 30 ミラー
- 35 自動原稿取扱い装置
- 37 文書トレイ
- 40 真空供給ベルト
- 41 供給ロール
- 42 供給ベルト
- 44 供給ロール
- 46 文書挿入口
- 48 キャッチトレイ
- 49 供給ロール
- 50 イメージ入力コントローラ
- 51 イメージコンプレッサ/プロセッサ
- 52 ユーザーインタフェース
- 54 システムコントローラ
- 56 主メモリ
- 58 イメージ操作部
- 60 イメージ出力コントローラ
- 61 RAM

- 62 対話型タッチ画面
- 64 キーボード
- 66 マウス
- 67 カーソル
- 70 プリント配線基板
- 72, 74 メモリバス
- 76 メモリコントローラ
- 78 システムプロセッサ
- 80 通信コントローラ
- 82 ディスクドライブコントローラプロセッサ
- 86 イメージ生成プロセッサ
- 87 ラスタ出力スキャナ部 (ROS)
- 88, 89 ディスパッチプロセッサ
- 90-1, 90-2, 90-3 ハードディスク
- 91 レーザー
- 92 音響光学式変調器
- 94 像形成ビーム
- 95 印刷モジュール部
- 98 感光ベルト
- 20 100 回転多面体
- 102 コントロン
- 104 現像装置
- 106 転写部
- 107 給紙部
- 108 印刷用紙
- 110 主給紙トレイ
- 112, 114 補助給紙トレイ
- 116 定着装置
- 118 出力トレイ
- 30 120 仕上げ部
- 122 とじ機
- 124 サーマルバインダ
- 130 EDNコア基板
- 132 マーキングイメージングコア基板
- 134 用紙取扱いコア基板
- 136 仕上げ装置バインダコア基板
- 138 入出力基板
- 140 システムバス
- 142 ローカルバス
- 40 147 ブートROM
- 150 ジョブチケット
- 152 ジョブスコアカード
- 155 作業領域
- 156 「閉」ボタン
- 157 「ジョブタイプ&チケット」アイコン
- 158 「スタート/印刷」ボタン
- 160 封筒
- 160-1 封筒テンプレート
- 160-2 封筒テンプレートの見本
- 50 160-3 封筒レイアウト

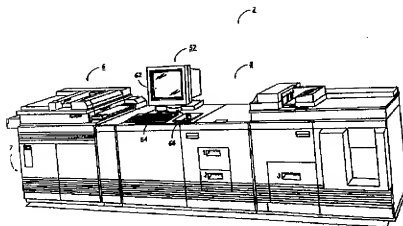
21

- 162 「数量」選択アイコン
- 164 キーボード
- 166 キー
- 168 「封筒種類」アイコン
- 170 「封筒サイズ」選択アイコン
- 171 「封筒用紙」選択アイコン
- 172 「封筒用紙色」選択アイコン
- 174 「封筒テンプレート」選択アイコン
- 178 「受取人住所」欄
- 180 「差出人住所」欄
- 182 「バーコード」欄
- 184 「ロゴタイプ」欄
- 186 「切手」欄
- 190 「受取人住所」アイコン
- 192 受取人住所ディレクトリ
- 194 受取人住所グループ
- 198 受取人住所

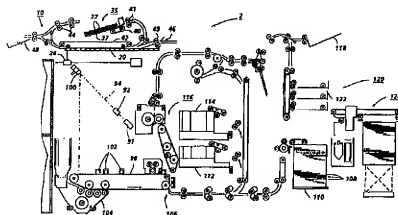
22

- 200, 202 上下スクロールアイコン
- 204, 206 XおよびY方向スクロールアイコン
- 208, 210 数字表示
- 212 「消去」アイコン
- 214 「閉」ボタン
- 216 「差出人住所」アイコン
- 218 差出人住所ディレクトリ
- 219 差出人住所サブディレクトリ
- 220 差出人住所
- 234 ログタイプ
- 240 バーコード
- 242 「バーコード」アイコン
- 244 「バーコードディレクトリ」アイコン
- 250 「併合」アイコン
- 254 「併合ライブラリディレクトリ」アイコン
- 258 切手
- 264 「切手」アイコン

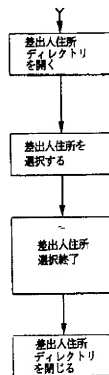
【図1】



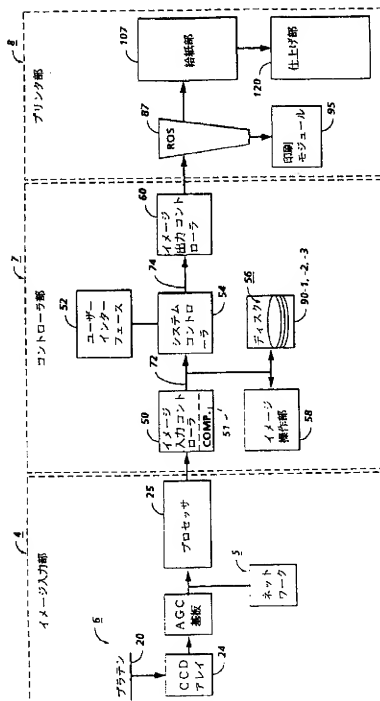
【図3】



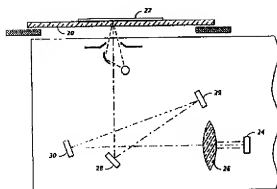
【図19】



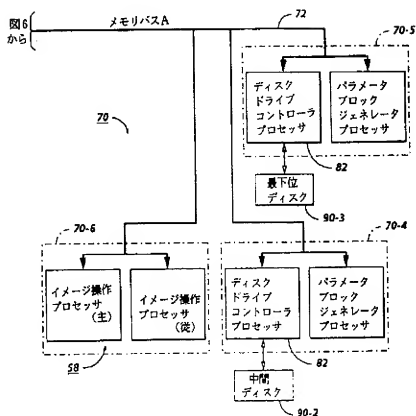
【図2】



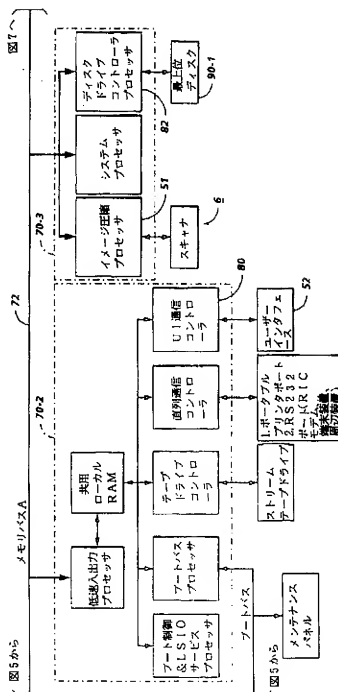
【図4】



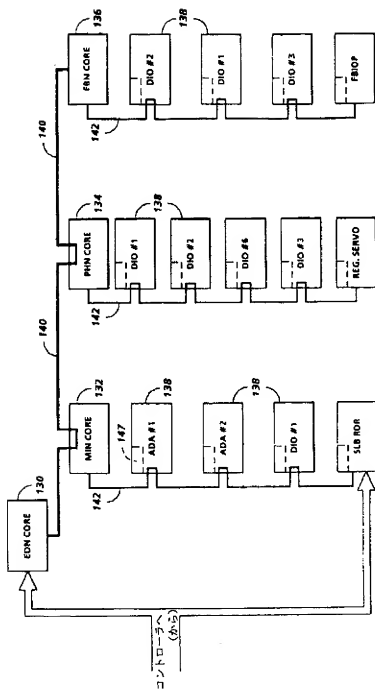
【図7】



【図6】



【図8】

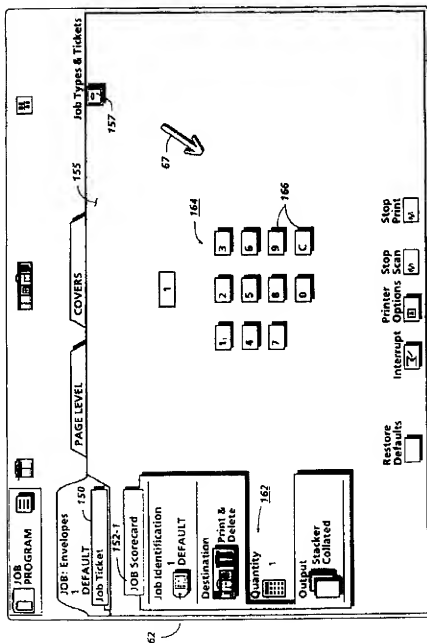


【図9】

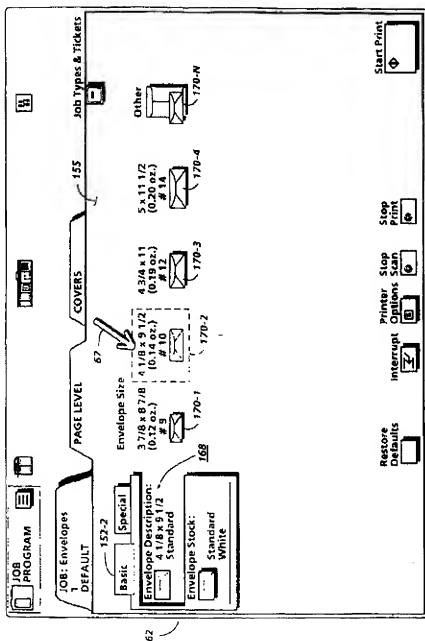
The screenshot shows a software window with the following components:

- Top Bar:** Contains icons for 'JOB PROGRAM', 'PAGE LEVEL', 'COVERS', and 'Job Types & Tickets'. A 'Close' button is on the right.
- Job Types & Tickets Tab (Active):**
 - Job Ticket for: 1** (152-1)
 - Job Level:** 152-2
 - Job Identification:** 152-3
 - Destination:** Print & Delete
 - Quantity:** 1
 - Output:** Stacker Collated
 - Page Level:** Basic
 - Envelope Description:** 4 1/8 x 9 1/2 Standard
 - Envelope Stock:** Standard White
 - Special:** Off
 - Merge:** Off
 - Stamp:** Off
 - Sender Address:** Off
 - Return Address:** Off
 - Covers:** Off
- Bottom Bar:** Contains buttons for 'Restore Defaults', 'Interrupt', 'Printer Options', 'Stop Print', 'Scan', 'Template', and 'Start Print'.

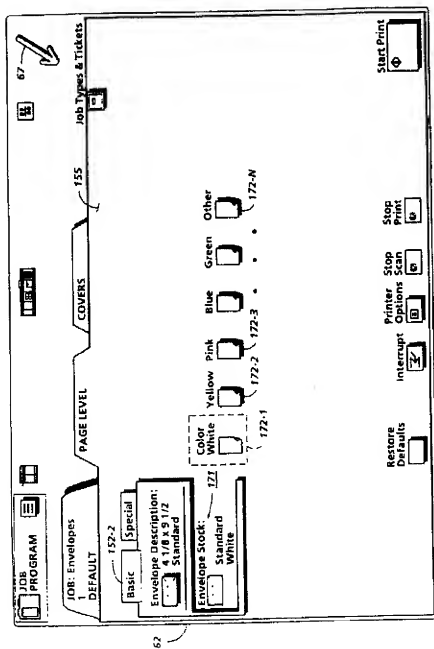
[図10]



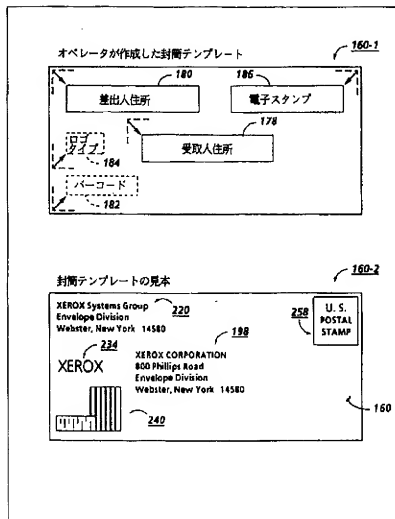
【図11】



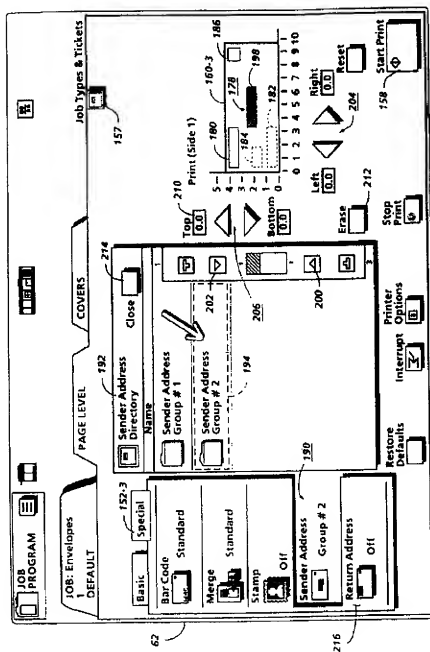
[図12]



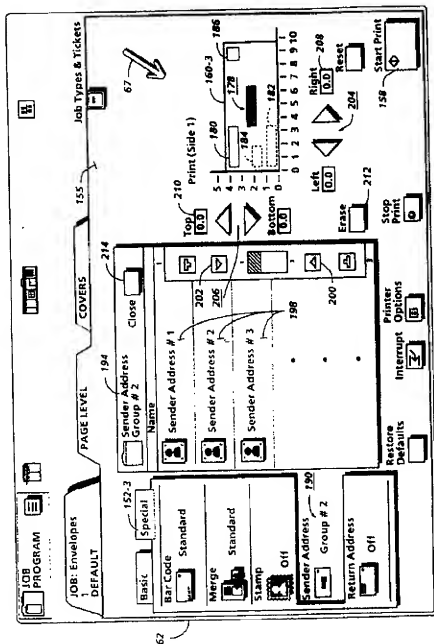
【図13】



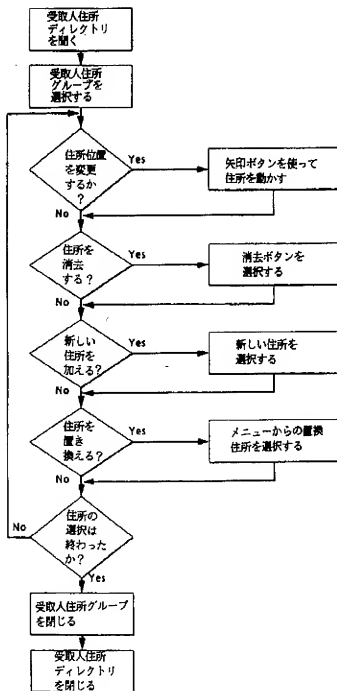
[図14]



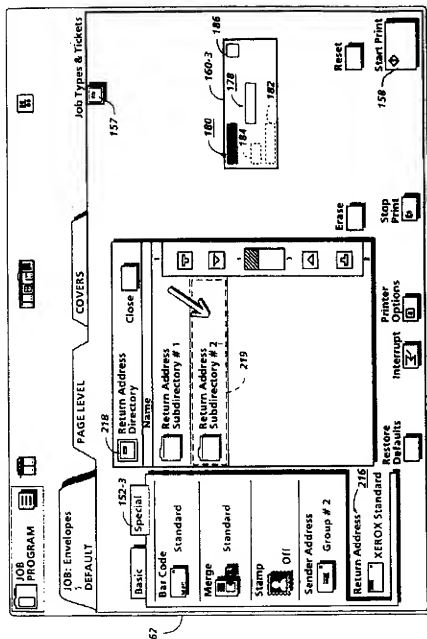
【圖 15】



【図16】



【図17】



【図20】

62

JOB PROGRAM

JOB: Envelopes
DEFAULT

PAGE LEVEL

COVERS

Job Types & Tickets

150

157

156

Close

152-3

Account: DEFAULT

152-2

Job Ticket for: 1

152-1

Job Type: Envelopes

Job Level

Job Identification:

1

DEFAULT

Destination:

Print & Delete

Quantity:

1

Output:

Stacker
Collated

152-3

Special

Basic

Bar Code

Standard

244

Merge

Standard

254

Stamp

Off

264

Sender Address

Group # 2

Return Address

XEROX
Standard

152-2

Page Level:

Basic

Envelope Description:

4-1/8 x 9-1/2
Standard

Envelope Stock:

Standard
White

152-3

Page Level:

Special

Bar Code:

Standard

242

Merge:

Standard

250

Stamp:

Off

260

Sender Address:

Group # 2

190

Return Address:

XEROX
Standard

216

158

Start Print

174

Template

159

Stop Print

Printer Options Scan

Interrupt

Restore Defaults